

プロ野球シーズンが終わり、根っからの巨人ファンの当方にとっては、原監督が退任されたことは残念ですが、来年は阿部新監督に期待したいと思っています。全体としては残念な1年でしたが、1球のプレーで戦況が大きく変化することがプロ野球の醍醐味だろうと思います。思いかえせば、中田選手の逆転サヨナラホームラン、門脇選手と吉川選手の二遊間守備、抑えの大勢選手が剛速球で三振をとってゲームセットなどがありました。全力によるファインプレーこそが野球ファンを魅了するのだろうと思いつつも、その華やかなファインプレーの背後には修練の積み重ねがあるのだろうと想像しています。

今回の特集企画は、筑田博隆先生による「わかればみえる！脊椎手術術野へのアプローチ」でした。どの項目も読み応えがあり、応用編ばかりで、脊椎脊髄手術を安全に行うための手術解剖学の決定版と言える特集でした。手術解剖における「道しるべ」を認識することは安全な手術のいちばんの基本であり、これらを自ら進んで学び、さらに独自に手術を発展・工夫すること、つまり修練の積み重ねこそが外科医の成長には必要だろうと思っています。執筆された先生方の外科医としての信念も感じることができる素晴らしい特集であったと思いました。

プロ野球選手にとっての仕事場は、息つく暇もなく活躍し続けることが求められる厳しい世界だろうと想像します。致命的なミスや凡打をすれば、ファンから厳しい目が向けられることが日常で、私自身も好き勝手に批判をしていることがあったと反省しています。芳しくない成績が続けば、当然ながら選手としての契約問題に影響するのが、プロフェッショナルとしての証だろうと思います。われわれの仕事場では、ヒヤリハットが深刻な状況につながることもさえます。外科医の成績評価はありませんが、ファインプレーは必要ではなく、凡ミスをしない安定した手術をすることが重要であろうと思います。偶然のファインプレーなどは存在せず、手術結果が思わしくない場合には、当然の理由がそこにはあるはずです。私自身は患者さんからの成績評価を常に意識しながら、まだまだ修練を積み重ねたいと思っています。本特集が読者皆さんにとっての「修練の積み重ねの一つ」となれば幸いです。

(高見俊宏)

脊椎脊髄ジャーナル

編集顧問

萬年 徹 金田清志 小山素磨
小柳知彦 田代邦雄 国分正一
服部孝道

編集委員

山崎正志 (編集委員長)
亀山 隆 園生雅弘 高橋敏行
高見俊宏 筑田博隆 永島英樹
中村雅也 根尾昌志 原 政人
飛驒一利 堀 正明 松山幸弘
安原隆雄

Vol. 36 No. 10
(2023 年 11 月 25 日発行)

毎月 1 回 25 日発行

1 部定価 (本体 2,500 円 + 税)

(配送料別)

年ぎめ予約購読料 33,300 円 + 税

送料弊社負担

発行/株式会社 三輪書店
代表者 青山 智

〒113-0033

東京都文京区本郷 6-17-9

本郷網ビル

TEL 03-3816-7796

FAX 03-3816-7756

URL <http://www.miwapubl.com/>
(担当: 山岸)

印刷所/三報社印刷株式会社

TEL 03-3637-0005

広告申込所/

(株)文栄社

TEL 03-3814-8541

(株)ハイブリッジエージェンシー

TEL 03-3814-0089

本誌の内容の無断複写・複製・転載は著作権・出版権の侵害となることがありますのでご注意ください。

Published by MIWA-SHOTEN Ltd.
6-17-9 Hongo, Bunkyo-ku, TOKYO © 2023,
Printed in Japan

JCOPY (出版者著作権管理機構 委託出版物)

本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前、出版者著作権管理機構(電話 03-5244-5088, FAX 03-5244-5089, e-mail: info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。